

「個別施設計画」の策定に向けた 市民意見交換会と検討方針のまとめ

この表は、『小樽市公共施設等総合管理計画（計画期間：平成29～70年度）』に基づく「個別施設計画」を策定するため、耐震性不足や老朽化が顕著な施設など、更新に際し再編の可能性が高い施設において、今年度開催した市民意見交換会等での主な意見と、その意見や利用実態などを踏まえた将来のあり方の検討方針をまとめたものであります。

類型	施設名称	担当部署	経過 年数 (年)	意見 交換 対象	意見交換会の主な意見	検討方針
市民 文化 系	市民会館	(生環) 生活安全課	54	○	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターがない。 ●駐車場が狭い。 ●トイレの洋式化が必要 ●意見交換会参加者のほとんどが利用者であり、千人規模の大ホールの存続を求める声が多数 ●大ホールの利用率が高い時期はあるが、その多くは札幌の高校生を含む練習用である。 ●マリンホールは、市民会館大ホールに比べ規模が小さく、施設の構造や音響設備等が違うため、大ホールの代替にはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化とともに耐震強度の不足も確認されているため、近い将来、施設の更新等が必要だが、市民センターに中規模ホールがあることから、利用実態を整理の上、現状規模の大ホール機能の必要性を検討するとともに、集会室等については他の施設との集約化を検討する。 ●特に大ホールの再整備を行う場合は、PPP/PFI活用の可能性を検討する。
	勤労女性センター	(生環) 勤労女性センター	43	○	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢の利用者にはバリアフリー化が必要 ●中心部で設備は揃っており、手続さも簡便なので利用しやすい。 ●無料託児があり、職員も親切で安心して利用できる施設なので、もっとPRをすべき。 ●使用料(有料化)の検討や市直営の運営については見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化が著しく耐震性が未確認であるため、近い将来、施設の更新等が必要であるが、当初の設置目的は薄れ現在は主に貸館として利用されているため、特徴である託児機能など市民ニーズを考慮に入れながら、同類の施設との複合化や集約化により新たな施設としての整備とともに、指定管理者などPPP手法の導入を検討する。
	勤労青少年ホーム	(生環) 勤労青少年ホーム	50	○	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の減少などにより、すでに貸し館の状況にあり、再整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、現在の利用状況を見ると、当初の設置目的は薄れ貸館化しているため、同類の施設との複合化・集約化により新たな施設としての整備とともに、指定管理者などPPP手法の導入を検討する。
	同上 体育館		47		<ul style="list-style-type: none"> ●市内で唯一フットサルの利用ができ、冬期間は暖房が入らない不便はあるが、テニス等の利用者が増えて、十分に抽選による割当てができないほどの貴重な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設が老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、多くが一般利用となっていることから、利用実態を整理の上、他の施設との集約化を検討する。
	銭函市民センター	(生環) 生活安全課	42	○	<ul style="list-style-type: none"> ●バリアフリー化されていない。 ●身障者用トイレがない。 ●駐車スペースが少ない。 ●現状の機能や規模を維持するための複合化なら賛成 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、銭函サービスセンターとの複合化等により、地域住民により利用しやすい施設としての再整備を検討する。
社会 教育 系	文学館	(教) 文学館	65	○	<ul style="list-style-type: none"> ●車椅子用出入口の周知が必要 ●建物自体が貴重であり、その立地及び周辺の景観との調和も含め、建物の存続が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内唯一の施設であり存続を基本とするが、老朽化とともに耐震性が未確認であるため、近い将来、耐震診断の実施や周辺環境に配慮した再整備の方法を検討する。
	美術館	(教) 美術館	65	○	<ul style="list-style-type: none"> ●H22年度の再整備で良くなったが、外壁の改修を希望 ●収蔵物に比べ展示スペースが狭い。 ●歴史的な建築物や手宮線と景観的に一体となったこの建物の存続が必要 	

類型	施設名称	担当部署	経過年数(年)	意見交換対象	意見交換会の主な意見	検討方針
レクリエーション系	総合体育館	(教)生涯スポーツ課	43	○	<ul style="list-style-type: none"> ●器具や設備等に故障や不具合があるので改修希望 ●将来も現在の施設規模(アリーナ面積)の確保を希望 ●十分な広さの駐車スペースを確保を希望 ●トイレが老朽化していて使用不能のものが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化とともに耐震強度の不足も確認されているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、利用実態を整理の上、他の施設との複合化・集約化を検討する。 ●再整備を行う場合は、PPP/PFI活用の可能性を検討する。
産業系	事業内職業訓練センター(旧堺小)	(産港)商業労政課	55	△	<ul style="list-style-type: none"> ●使用できなくなれば、他の場所でも現状と同様の運営形態を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●複合建物に入っているため、他の構成施設の再整備に併せて、小樽地方職業訓練協会等と協議し、あり方を検討する。
	シルバー人材センター入居部(旧堺小)		55	△	<ul style="list-style-type: none"> ●使用できなくなれば、他の場所を探すこととなるが、事業内容や収支状況等を勘案した市の支援を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●複合建物に入っているため、他の構成施設の再整備に併せてあり方についてシルバー人材センターと協議を行う。
(その他)行政系	堺小学校記念室(旧堺小)	(教)教育総務課	55	△	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動室は町会等で利用が多く存続希望 ●耐震性でのリスクと市の財政状況を勘案すると、早急に改修されるとは思っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現状のまま利用するが、老朽化とともに、耐震性が未確認であるため、近い将来、施設の更新等が必要であり、耐震診断の実施やあり方の検討を行う。
子育て支援	手宮保育所	(福)こども育成課	42	○	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の建物は、耐震のほか、暗渠の河川や崖に囲まれ安全性に不安があるので、子どもが安全に過ごせる場所への建替えを検討すべき。 ●統合等を検討する場合、交通が便利な場所を希望 ●駐車場が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化とともに耐震性が未確認であるため、近い将来、施設の更新等が必要であり、他の施設との複合化や再整備など施設のあり方を検討する。
	塩谷児童センター		35	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の過疎化が進んでいるため存続して欲しいが、災害時の安全性を考慮し、塩谷小学校の敷地への移転も検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化が進み、施設の更新等が必要になった際には、塩谷サービスセンターとの複合化等により、地域住民により利用しやすい施設としての再整備を検討する。
	とみおか児童館(総合福祉センター内)		47	○	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターが古く、子どもには使わせられないくらい不安だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複合建物に入っているが、建物が老朽化し耐震強度の不足も確認されているため、近い将来、建物の更新等が必要であり、当該建物の再整備に併せてあり方を検討する。

類型	施設名称	担当部署	経過 年数 (年)	意見 交換 対象	意見交換会の主な意見	検討方針
保健福祉	総合福祉センター	(福)地域福祉課	47	○	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーターが古く、視覚障害者は恐怖を感じるほどだ。 ●駐車場が無く、一部の窓が開かず、雨漏りもするなど、施設の再整備が必要 ●耐震性不足や老朽化が著しいことから、新しい施設に複合化することを希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉関係の施設が複合化した建物に入っており、老朽化とともに耐震強度の不足も確認されているため、近い将来、建物の更新等が必要であり、類似の利用状況の施設が複数あるため、利用実態を整理の上、他の施設との集約化を検討する。 ●再整備を行う場合は、PPP/PFI活用の可能性を検討する。
	身体障害者福祉センター	(福)障害福祉課	36	○	<ul style="list-style-type: none"> ●身体障害者施設なので土足利用を希望 ●駐車場が必要 ●ろうあ協会の利用希望が他団体と重なり、別会場を借りなければならなくなることがよくある。 ●身体障害者や送迎車両に配慮した周辺道路の除排雪を希望 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、類似の福祉施設との複合化など施設のあり方を検討する。 ●再整備を行う場合は、PPP/PFI活用の可能性を検討する。
	ホームヘルパー事務所	(医保)介護保険課	41	△	<ul style="list-style-type: none"> ●使用できなくなれば、賃借者自ら他の場所を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市営住宅の再整備や廃止等の方針に合わせて、社会福祉協議会と協議を行う。
	保健所庁舎	(保)保健総務課	45	○	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震強度が不足しているため、早めの対策を希望 ●駐車スペースが狭い。廊下部分が待合スペースになっているなど、利用者にとって不便な施設 ●修繕や補修に毎年多額の費用がかかっているため、早急に建設等の計画を検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化とともに耐震強度の不足も確認されているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、市民サービス向上のために、市役所本庁舎など他の庁舎建物との複合化・集約化を検討する。
行政系（庁舎等）	本庁舎別館	(総)総務課	55	○	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震性不足から災害対策の本部として不適で、修繕等に多額の費用がかかっている状況から早期に建替えすべき。 ●コンパクト化、複合化した新施設を目指すべき。 ●市民の利便性を高め、業務が効率的に進む配置等を検討した上で複合化の対象施設を決め、整備検討すべき。 ●庁舎建替えは、同じ場所にこだわらなくても良い。 ●歴史的建造物である本館が真ん中にある状態では、複合化等の邪魔となるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化とともに耐震性も不足していることから、市役所庁舎の建替え・複合化を検討する。 ●建替えの検討に際し、近隣の水道局、保健所、教育委員会等の庁舎の統合化とともに、市民に利用しやすい、職員の業務がしやすい施設としての整備を検討する。
	銭函サービスセンター	(生環)戸籍住民課	44	○	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車スペースが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、銭函市民センターとの複合化等により、地域住民により利用しやすい施設としての再整備を検討する。
				2階△	<ul style="list-style-type: none"> ●賃借者の社会福祉協議会において将来のあり方を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物の再整備等を検討する際に、あり方について社会福祉協議会との協議を行う。
塩谷サービスセンター		39	○	<ul style="list-style-type: none"> ●塩谷地区のために集会室も配置した施設なので存続させるとともに、その活用方法の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化しているため、近い将来、施設の更新等が必要であり、塩谷児童センターとの複合化等により、地域住民により利用しやすい施設としての再整備を検討する。 	

類型	施設名称	担当部署	経過年数(年)	意見交換対象	意見交換会の主な意見	検討方針
そ	公設青果地方卸売市場	(産港)公設青果地方卸売市場	45	△	<ul style="list-style-type: none"> ●全国的な市場外流通等の増加、人口減少(高齢化)による取扱量の減少や変化に加え、市場法改正に伴う今後のあり方など、市場を取り巻く情勢が大変厳しい状況 ●本市場も、卸売会社を経営支援している企業の合併や、施設の老朽化、道内他市場の動向(公設廃止等)など予断を許さない。 ●公設廃止は、農産品出荷、小売業者の商品購入などの支障が大きく、当面は現状維持を希望 ●冷蔵庫の老朽化対策は喫緊課題で対策が急務だ。卸売場が狭くなくても良いので、定温庫や保管場所の確保と今後の維持について、議論を深めて欲しい。 	●長寿命化型改修により施設の延命化を図るとともに、各施設の効率的な配置や、指定管理者などPPP手法の導入による運営手法を検討する。
	同上 冷蔵庫		45			
	同上 倉庫		40			
の	公設水産地方卸売市場上屋	(産港)公設水産地方卸売市場	41	△	<ul style="list-style-type: none"> ●沖合底引き漁業の取扱減少が続き、関連企業や団体の経営環境が厳しい。 ●経年劣化により毎年多額の施設・設備の修繕費用が必要 ●猫、鳥の侵入を防ぐ対策が必要 ●生鮮水産物が荷揚げされる港の使命から卸売市場の設置は必要 ●1号館(函物)と2号館(バラ物)の統合し建替えが望ましいが、新たな費用負担を伴うのであれば、慎重に検討しなければならない。 ●複数の計画案の概算費用や、業務委託料、使用料等の値上げなど、具体的な案が市から提示して欲しい。 ●建替困難な場合は、修繕で対応して延命を図るしかない。 	●長寿命化型改修により施設の延命化を図るとともに、取扱量の動向を見据えながら、各施設の統合などの再編整備を検討する。併せて指定管理者などPPP手法の導入を検討する。
	同上 卸売場		40			
	同上 検量施設		41			
	同上 排水処理施設		39			
他	旧高島魚揚場事務所	(産港)水産課	57	△	<ul style="list-style-type: none"> ●経年劣化による屋根などの被害が増大しており修繕には費用を要する。 ●国有地に建てており、新たに「漁具資材保管施設」を建設することや、解体費用捻出が検討課題 ●漁具以外の物品も置かれており整理が必要で、使用場所・面積など賃貸者への指導が必要 ●近隣に適当な漁具保管場所がないため、市による建替えを希望するが、課題等を整理し協議すべき。 	●当面は現状維持を図るが、老朽化が著しく、再整備に対する課題等を整理した上で、賃貸者と協議し、あり方を検討する。
	同上 上屋		57			

平成28年度末現在



※○：市民や利用者との意見交換会、△：使用者との個別意見交換

◎用語解説

■長寿命化型改修とは：老朽化した建物や設備について、物理的な不具合を直す際に、従来よりも耐久性が高い材料、工法等を用いることにより、建物や設備の機能や性能をその施設に求められる水準まで引き上げ、建物自体の耐用年数を延長させる改修工事のこと。